

福岡ソフトバンクホークスと包括連携協定を締結

自治体との包括連携協定締結は、3番目

8月28日(金)

◎目的

福岡ソフトバンクホークス株式会社と糸島市は、双方が魅力を高め、その強みを生かしながら、多方面にわたる連携・協力した取組みを行うことで地域振興を図る

■連携協力事項

- (1) 市民協働のまちづくりに関すること
- (2) スポーツ振興及び健康増進に関すること
- (3) 青少年の健全育成支援及び教育に関すること
- (4) 産業振興及び観光振興の連携に関すること
- (5) 情報発信及び広報活動に関すること
- (6) 子育て支援及び福祉の向上に関すること
- (7) 都市間の連携に関すること
- (8) その他目的達成のために必要な事項に関すること



■想定される連携事例

- 無料観戦チケット・ユニフォーム・うちわの配布
- Kidsご招待券の小学校での配布
- 選手の写真、メッセージの提供
- 市内での野球教室の実施
- ホークスニュースの市民への配布
- ドームでの糸島産品販売・PR



【締結式の概要】

- 1 日時：平成27年8月28日(金) 15時45分予定
- 2 場所：福岡ヤフオクドーム(福岡市中央区地行浜)カンファレンスルーム(予定)
- 3 内容：
 - ①協定締結式
(ソフトバンクホークス代表取締役専務、糸島市長)
 - ②記者会見
 - ③工藤公康監督への糸島産品の贈呈
 - ④記念撮影
(工藤監督、月形市長、ハリーホーク、いとゴン)

地元福岡の人気球団との協定締結により、市民サービスの向上や地域振興につながると大いに期待

9月3日解禁

株式会社ピュールとの立地協定締結

「九州大学南口泊研究団地」内へ増設

平成29年3月
操業開始予定

白髪染めヘアマニキュアブランド4年連続全国1位の実績を誇る

■株式会社ピュール（代表取締役：田中和江さん）

◎無添加化粧品開発・製造メーカー

- 利尻昆布を原料とした白髪用ヘアマニキュアが国内トップシェア。
- その他、国内外300社、2,000アイテムをOEM生産

◎現在は、市内井田に本社（従業員：107人 資本金：6,000万円）

- 国内外に需要増大に対応し、さらに高品質な製品の研究・開発・製造をするため、新工場の増設を決断

◎平成24年度から九州大学と連携

- 新規染毛料を共同研究開発。今後は、地元糸島産の天然素材を使った化粧品の研究開発などを展開予定



(株)ピュールHPから

地元市長としては

◎本市内への増設が決まり安堵

- 他の自治体ではなく本市への増設は新たな雇用創出や税収面でも大きな効果

◎市公社が整備した団地の購入に感謝

- 当初の開発目的どおり、九州大学との研究開発実績のある企業が立地
- これで、当該研究団地含め開発公社が開発した団地は完売

◎地元農産品の活用を期待

- 天然素材を原料とするため、地元農産品の活用にも期待

九州大学関連企業の立地が加速し、市民の雇用の場が増えることを期待

【立地協定及び環境保全協定の調印式】

- 9月3日（木曜日） 15時から
- 九州大学 稲盛財団記念館「稲盛ホール」



糸島市

9月補正予算 定住・郷土愛の取組強化へ

①定住支援員を配置

本市への定住ニーズと空き家とのマッチングや情報発信を強化

転入希望者に対する相談や生活密着情報の提供

- 地域活動（自治会活動・出方）
- 近所付き合い
- 通勤・通学・買い物の方法
- 空き家物件の提供（仏壇、荷物の管理・賃貸方法）



- ◎空き家バンクだけではなく、丁寧な調整役が必要
- ◎そこで、定住支援員（嘱託員）を新たに配置
- ◎より地域に密着するため、行政区ごとの情報発信を強化（行政区の情報を発信）

②ふるさと応援寄附をネットで強化 さらなる糸島への寄附上乗せへ

今年度から返礼品を充実。次は発信強化、利便性向上、事務の省力化へ

寄附の件数・額ともに現時点で昨年度の約3倍以上

- 今年度から返礼品に地元産品を加えて内容充実
- H26年度：500万円 ⇒ H27年8月17日現在：1,449万円
- 寄附者からの問い合わせ、返礼品の注文・発送を職員が対応
- 他の自治体では、10億円以上もの寄附を得ている



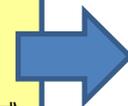
- ◎全国どこからでもネット上で寄附ができる仕組みを構築
- ※県内18団体がこのサービスを活用。本市は19番目
- ◎クレジットカードでの寄附も可能に
- ◎問い合わせ、返礼品の注文・発送も委託

③認知症カフェの設置を支援 ふるさと応援寄附活用

高齢化が進む中、今後、本市においても認知症対策は大きな課題

認知症カフェとは

- 認知症の方とその家族が安心して集い、相談できる場、認知症に対する理解を深めていただく場
- 期待される効果は、①認知症とその家族の安心 ②認知症進行の抑制 ③認知症の人を介護する人の相互交流・情報交換による負担軽減 ④認知症への理解促進 ⑤認知症の早期発見・診断・対応の促進



- ◎認知症カフェ設置・運営の助成事業を開始
- ※民家・店舗等の改修費：1団体上限20万円など
- ◎自治体が助成をしているのは、飯塚市のみ。本市は、県内では2番目
- ※認知症カフェ自体は、県内60団体中17団体が設置
- ◎財源は、ふるさと応援寄附を活用

